# 2019年度
# 事業報告書

特定非営利活動法人
アントレプレナーシップ開発センター

〒604-0866
京都市中京区西方寺町 160-2
船越メディカルビル　3F
TEL:075-468-8907　FAX:075-468-8908

アントレプレナーシップ開発センターが目指すもの：

# アントレプレナーシップ溢れる人材育成と社会の実現

## 目次

はじめに ........................................................................................................................................ 1

2019 年度 活動報告 ........................................................................................................................ 2

2019 年度 決算報告 ........................................................................................................................ 13

# はじめに

今年度は、新型コロナウィルス（COVID-19）の感染拡大を受け、いくつかの活動で変更や制約が発生致しましたが、皆様のご支援のもと、何とか予定していた事業を無事終了することができました。

まず、アントレプレナーシップの普及事業として 2004 年から続けております高校生の国際競技「Global Enterprise Challenge (GEC)」は、昨年 3 月末に実施しました国内予選で日本代表に選ばれた 3 チームが 5 月 12 日の世界大会に進み、20 チームの中から、日本の AICJ 高等学校チームが 1 位、同志社国際高等学校チームが 2 位に入賞と、大変健闘いたしました。また、今年の 3 月 22 日に開催しました国内予選には、50 校 54 チーム、360 名の高校生がエントリーしましたが、新型コロナウィルスの影響で学校が休校になり、物理的にメンバーが集まれないチームが出るなか、オンライン競技の良さを活かし、生徒達はビデオ会議アプリを活用するなどして、予選大会を予定どおり実施することが出来ました。今は、5 月 30 日の世界大会に向けて準備しているところですが、今年は、どの国の高校生も、オンライン集合で課題解決に取り組むことになりそうです。

次に、小・中学生のリーダー育成として民間助成を活用し 2017 年度より実施して来ました「堀商キッズチャレンジ」と「子どもが創る起業村～キッズベンチャータウン」は、ともに 3 年目を迎え、事業開始時に期待していたような成果が出る活動になって参りました。堀川商店街で活動している「堀商キッズチャレンジ」は、年 3 回開催する連続講座で、地域の人達が交流できるお祭りの企画や運営、新たな商品開発等を行いながら、微力ながら商店街のお店の宣伝や賑わいづくりに貢献して来ました。参加者も世代交代しながら、良きリーダーが成長して来ています。また、「キッズベンチャータウン」では、子供の豊かな発想を形にできるような支援者の育成が課題となっていましたが、今年度は、指導者養成講座を平行して開催し、子供の学習サポーターの充実に努めました。本養成講座は、1 月～3 月にかけても開講し、今後もオンラインを活用しながら継続していく予定です。

第 19 回目となる「ユース・エンタプライズ トレードフェア」では、全国各地から 28 チーム（小学生 4 チーム、大学生 24 チーム）が参加し、日頃の学習成果を発表するとともに、自分達のアイデア商品を出展・紹介し、互いに学び合い交流する良い機会となりました。

今回、新型コロナウィルスのパンデミックにより、社会が大きく変容する中、教育の在り方も問われています。当センターも、しばらくは活動を中止せざる追えない状況が続くかと思いますが、人々が安心で幸せな生活を送れるよう、イノベーションが起こせるアントレプレナーシップ溢れる若者を育成すべく、引き続き尽力して参りたいと存じます。つきましては、皆様には、引き続き良き応援者として、ご指導・ご支援賜れますよう何卒よろしくお願いいたします。

令和 2 年 5 月

特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター

理事長　原田紀久子

# 2019年度 活動報告 Activity Report

## 1. 能力開発のための研修・講義・講座の提供

### ➤ 堀商キッズチャレンジ：地域のキッズリーダー育成プロジェクト＠堀川商店街

本事業は自分達の地域に誇りと責任を持って行動できるリーダーシップある子どもの育成を目的として、JTのNPO助成や堀川商店街協同組合・京都ユネスコ協会の協力を受け、小学生4年生から中学生を対象に、2017年の夏から行っているものです。

今年度も引き続き、堀川商店街にて地域の賑わいづくりに取り組む講座を、3回開講しました。講座では、子ども達が「堀商キッズ社」の社員として、地域の人達が交流するイベントの開催や土産商品の製作・販売等を企画・実施しました。商店街や堀商キッズ社の活動を紹介した案内チラシを配布するなどして、堀川商店街の宣伝にも努めており、イベントの来客の三分の一以上は、この堀商キッズのお祭りがきっかけで初めて堀川商店街に来て、ついでにお店で買物をしたり、飲食したりしたと答えており、微力ながら地域の賑わいづくりに貢献しています。また、商品販売などの売上の中から、1万円を自然災害の被災者支援に寄付しました。

活動場所：堀川会議室・京都建築専門学校 よしやまち町家・京都大学等
助　　成：2019年度　JT NPO助成事業
後　　援：京都市教育委員会　(土曜塾登録講座)、京都ユネスコ協会
主　　催：特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター
共　　催：堀川商店街協同組合

**＜夏期講座：6/8～8/17＞6/8,6/22,7/6,7/20,8/3,8/17**

8月3日に堀商キッズ社の夏まつり「クールパラダイス」を開催し、当日は、暑いなか多くのお客さんが来場くださいました。商店街を紹介した手作りのすごろくやクイズラリー、魚釣りや音楽の生演奏等を楽しみました。

**＜秋期講座：9/28～12/14＞9/28,10/19,10/26,11/9,11/23,12/1,12/14**

堀川エリアのマスコットキャラクターとして、「堀カワウソ」が決定。京都大学で開催されたトレードフェアでは、クリスマスハートの販売や体験ワークショップを行い、「京都経済同友会賞」と来場者が選んだ「ベストショップ賞」を受賞しました。

**＜春期講座：1/18～3/28＞1/18,2/1,2/15,3/14,3/28,4/11**

春の講座では、昔遊びを楽しんでもらう「昔なつかし春祭り」を企画し、お手玉・けん玉・あやとり・百人一首・おはじきに加え、カードのマジックショー、ウクレレ演奏に、商店街を回るクイズラリー、正解者にプレゼントする「堀カワウソ」の栞などを準備しました。そして、ラジオにも出演して広報に勤めましたが、新型コロナウィルスの影響で、お祭りを延期したり、お祭りの日は消毒など感染予防対策したり、お客さんを限定したりと、いろんな苦労はありましたが、来店して頂いた人に喜んで頂き、また、京都新聞やKBS京都にも取材に来てもらって、参加者にとっても学びのある講座となりました。

## ➢ キッズベンチャータウン～子どもが創る起業村

本事業では、小学年5年から中学生の子ども達が、10年後の未来を想定し、今後取り組まなければならない社会問題に貢献する事業を提案して形にして行きました。その過程で、専門家の助言を得たり、試作品を作成したり、自分達の会社で働く社員を募集したり、様々な業務をこなし、12月1日には、その仕事を体験できる起業村「キッズベンチャータウン」を開催し、新しい社員と一緒に、自分達の会社の事業について、来場者の人に説明しました。今年は、「CO2削減に貢献するイシクラゲ食品」「高齢者向けのIoT家電利用支援サービス」「防犯機能等を備えた多機能ゴミ箱」「身体障碍者向けのファッションサポート」「完全自動化のためのAI開発サポート」「脳波と連動したVRリハビリ」「AR観光による地域活性化事業」「不登校者をつくらない生徒主体の学校」「減災のための体験学習施設」「歩いて発電する靴」「オーダーメードのARペンダント」のアイデアが出展されました。

当日は、200 人以上の方に来場頂き、表彰式では、来場者が選ぶ一番良い会社に授与されるベストショップ賞を、映像を映し出せるペンダントを提案した「ぬいぐるみん社」が受賞し、審査員が選ぶ最優秀賞は、多機能型ゴミ箱を提案した「タノゴミ社」に授与されました。

活動場所：京都大学百周年時計台記念館
主　　催：:特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター
助　　成：:独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」、 公益財団法人双葉電子記念財団「青少年創造性開発育成事業」
協　　力：京都大学人工知能研究ユニット／理化学研究所・革新知能統合研究センター, アイロボットジャパン合同会社,パナソニックデザインセンター、LINE株式会社
後　　援：京都市教育委員会、青少年と科学の会

## ➢ アントレプレナーシップ教育指導者養成講座

小・中学生を対象にアントレプレナーシップを推進する教育指導者の育成講座で、継続することでインストラクターの資格を授与するものです。今年度は、夏と春の2回、基礎講座のみを開講し、アントレプレナーシップ教育の意義や目的、指導方法、カリキュラムや教育効果測定などについて学んで頂きました。

**＜基礎講座：7月～8月＞7/3,7/17,7/31,8/7,8/21　全5回水曜 18:00～19:30**
**＜基礎講座：1月～3月＞1/22, 2/5, 2/19, 3/4,3/18　全5回水曜 18:00～19:30**
**＜実践講座：9月～12月＞9/18,10/2,16,11/6,27,12/18 19:00～20:30 計6回と子どもの活動へのサポート参加**

教育サポーターとして実際の活動「キッズベンチャータウン」の準備や講義に参加しながら、授業づくり力やファシリテーション力を培って頂きました。

## ➢ 丹波市立春日中学校　アントレプレナーシップ教育導入研修会　2019.5.23

兵庫県立丹波市立春日中学校にてアントレプレナーシップ教育を導入されるにあたり、教員の方を対象にした基礎講義を教育委員会の依頼により実施いたしました。

## ➢ 同志社大学　総合政策科学研究科　現代社会起業研究　2019.7.9

同志社大学にて社会起業の研究をされている大学院生の学生の方を対象に、当センターの活動紹介をいたしました。

## ➢ 枚方市立山田中学校　キャリア教育でのアントレプレナーシップ育成の意義　2019.8.20

昨年に続き、先生方対象にアントレプレナーシップ教育の紹介と実際に導入する場合の授業案の企画を体験して頂きました。

## ➢ 環境活動パワーアップ講座「仲間と一緒に思いを形にする力をつけよう」　2019.11.2

京エコロジーセンターが開催する講座で、活動をすすめるプロセスで必要な合意形成とよりよい関係づくりのために「思いを形にするために」必要なことについて講義しました。

## 2.普及促進のためのイベント・セミナーなどの企画・運営

### ➢ グローバル・エンタプライズ・チャレンジ（Global Enterprise Challenge ）2019

Global Enterprise Challenge(GEC)は、若者の科学技術やイノベーションへの興味を喚起するために、15 歳～19 歳の高校生を対象に実施する 12 時間の国際競技です。国内予選と世界大会の二つのステージからなり、当センターは 2004 年から国内予選をホストし、2016 年から世界大会のホストも担っています。

2019 年度は日本からは 68 チームの中から国内予選で選ばれた 3 チームが世界大会に出場し、日本チームは優勝、準優勝と大変健闘いたしました。

**【世界大会】 5/12（日） 8:00AM-20:00PM**

＜課題（**challenge**）＞　海洋ゴミ問題を解決する革新的ビジネスプランを提案

「Your Challenge is to develop an innovative business to clean up marine debris in the ocean or drifted litter on the shore. You are expected to use the latest available technology in your proposed product. You will present your business plan to a panel of venture funders who are interested in investing in the marine debris problem.」

■参加チーム:20 チーム（11 か国）
■入賞チーム
★最優秀賞（1 位）：OCTET-J（AICJ 高等学校） 日本
浅沼駿哉、井唯千嘉、菅剛大、雑賀亮介、佐々木咲乃、真田翔太、曽根川かなえ、三宅愛美
★優秀賞（2 位）：facian（同志社国際高等学校） 日本
井澤円花、門田麻未、川邉永麗菜、髙松芽衣、中本マリサさくら、ナミカスキャロライン、ナミカスジュリアーナ、堀綾花
★特別賞：Wolf-Gang, (Multiple Intelligence International School,Philippines）フィイリピン
Alexa Isabel Y. Aguila, Bianca Katelyn C. Warren, Florencio Cenon B.Singson II, Isabelle Eleanor T. Antaran, Marcus Benjamin L. Siggaoat, Nadine Gabrielle A. Bufi, Renee Isabelle D. Bundoc, Simone Gabrielle G. Bernardo

## ➢ グローバル・エンタプライズ・チャレンジ（Global Enterprise Challenge ）2020

日本では、国内予選を3月22日に開催し、3チームが5月30日の世界大会に出場予定です。

**【事前学習会】 3/1（日） & 3/8(日) 8:00AM-20:00PM**

今年の事前学習会は、物理的に集合することをやめ、各チームが個別に集まり（オンライン上も含め）、国内予選と同じ形式で、模擬競技に挑戦する形で事前学習会を行いました。コロナの関係で学校が急に休校になったことから、指導される先生方の間にも混乱があり、調整にも一苦労ありましたが、生徒達は、柔軟に対応して参加してくれていいました。

**＜練習課題（challenge）＞** 治療方法のないウィルス疾患により発生する死者や社会的インパクトを最小限にする事業アイデアの提案

「Your challenge is to produce an innovative business idea incorporating effective measures (including precautionary measures) that will minimize loss of life and societal impact when your country is affected by a viral disease for which there is no cure.」

**【国内予選】 3/22（日） 8:00AM-20:00PM**

休校措置が解除されなかったこともあり、事前学習会と同様にオンラインでの集合を認めて、実施しました。残念ながら近隣にコロナの感染者が出るなどの事情で学校や保護者の指導が入り、4チームが直前で参加を諦めざるを得ませんでしたが、オンラインであったため、国内予選を実施できたことは不幸中の幸いでした。

**＜課題（challenge）＞** 視覚障害者の外出を支援する事業アイデアの提案

「Your challenge is to propose an innovative business idea that uses scientific and technological solutions to support those with severe vision impairments (either partial or total blindness) in their daily lives. Particular emphasis should be placed on ways of making it easier for the visually impaired to get out of their homes and participate more fully in the life of the community.」

■参加チーム：50チーム
■入賞チーム
★日本代表チーム
-No.1: ABC!（海城高等学校・栄東高等学校・ノートルダム女学院高等学校・広尾学園高等学校）
大谷宇京、高橋祐樹、中嶋柚月、野口駿、橋本龍之介、長谷川新誠、山崎平
-No.11: 8 out of 12（東京学芸大学附属国際中等教育学校）
安藤和泉、齊藤あいり、富田麻理乃、中野夏実、ハリスマイリー、東野玲央、細川未智、吉井伶衣
-No.44: Shoutout to Sushi（開智未来中学高等学校・駒場東邦高等学校・聖心女子学院高等科・都立国際高等学校・N高等学校）
小川和希、小林りこ、高澤美優、竹下寛人、西谷茉莉、松木詩葉、山下愛里彩、山野井咲耶
★特別賞
-No.24.Metasequoia（雙葉高等学校）
莇生田まひろ、飯田楓、臼井理咲子、小林柚花、橋本諒子、吉田彩乃

<国内予選審査員＞ ◎審査委員長

◎ 市原 達朗（ネオマテリアル研究会 会長）
- 鵜飼 宏成（名古屋市立大学大学院経済学研究科 教授）
- Eric Bray（四日市大学 環境情報学部 教授）
- 黒澤 敏朗（摂南大学 名誉教授）
- 小西 史一（さくらインターネット株式会社 技術本部）
- Jane H. Liu（CEO of New Deantronics Group）
- 渋谷 裕（株式会社糖鎖工学研究所 取締役）
- Dede Prabowo（Alam Aksara 財団創設者・常任理事）
- 中田 愉香 （ローム株式会社 CSR 本部 CSR 室 室長）
- 西岡 正子（佛教大学 名誉教授）
- 野田 公彦（京都技術士会 会長 / 技術士(化学・総合技術監理部門)）
- 原田 紀久子（特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター 理事長）
- Hui Mei Ling（CEO of UTC Foods Corporation,Taiwan）
- 松田 一敬（合同会社 SARR 代表執行役員）
- 森田 達夫（PM ディメンションズ株式会社 代表取締役）
- 山本 博昭（京都技術士会 技術士（機械部門）/山本技術士事務所 代表）
- 吉川 正晃（株式会社 Human Hub Japan 代表）
- 渡辺 珠子（株式会社日本総合研究所 創発戦略センタースペシャリスト）
- 和田 信明（特定非営利活動法人ムラのミライ 海外事業統括）
- 和田 仁 （京都技術士会 会計幹事 / 技術士(金属部門)）

＜専門家アドバイザー＞
- 岡田 弥（日本ライトハウス 情報文化センター サービス部）
- 園 順一 (京都福祉情報ネットワーク 代表）
- 星野 寛（株式会社コネクトドット 代表取締役社長）

主　催:特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター
協　賛:有限責任あずさ監査法人京都事務所、 京都外国語大学、 株式会社島津製作所、 ニチコン株式会社、 日東薬品工業株式会社、株式会社堀場製作所、ローム株式会社
助　成:公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金
協　力:京都技術士会
後　援:経済産業省近畿経済産業局、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、京都府私立中学高等学校連合、公益財団法人全国商業高等学校協会、青少年と科学の会（公益社団法人京都工業会、一般社団法人京都経済同友会、一般社団法人発明協会京都支部）、国立研究開発法人科学技術振興機構、独立行政法人国立高等専門学校機構

## ➢ ユース･エンタプライズ トレードフェア 2019 with キッズベンチャータウン

今年で 19 回目を迎えた本事業は、アントレプレナーシップ育成の教育実践の発表の場を提供するものです。今年のトレードフェアには、全国各地から 28 チーム（小学生 4 チーム、大学生 24 チーム）が参加し、当日は、新しい事業創造を通じて課題解決に挑戦している小学生～大学生の若者達が、日頃取り組んでいる起業体験活動の学習成果を展示販売やプレゼンテーションを通じて発表し、一般の来場者の意見を聞くとともに、互いの実践から学び合い交流する良い機会となりました

### ＜入賞チームの紹介＞

**●京都府知事賞 (社会貢献度が最も高かったチーム)**
**彩咲小町（共愛学園前橋国際大学)**
（花と湯葉を使用し、お椀の中に花が咲く演出のあるお吸い物を地元企業と共同開発）
賞品：カタログギフト「京もの愛用券」
賞品提供企業：京都府

**●京都経済同友会賞**（地域コミュニティーに貢献度の高いチーム）
**堀商キッズ社（堀商キッズチャレンジ)**
（堀川商店街のマスコットキャラクターの商品やクリスマス飾りのワークショップ等）
賞品：令和版人生ゲーム等 皆で遊べるベーム 6 点
賞品提供企業：一般社団法人京都経済同友会

**●京都中小企業家同友会賞**（ビジネスモデルに新規性や独自性の高かったチーム）
**ラ・フォレ SHIZU（京都市立静原小学校)**
（生徒達が育てたお米や，静原地域の山の間伐材を使ったアクセサリーや小物等）
賞品：有限会社山田木工所の「木製ブロックパズル」
賞品提供企業：京都中小企業家同友会

**●異能工房賞**（実際に起業するなら応援したいチーム）
**プロジェクト xR（愛知学院大学)**
（先端技術に対する興味を高める事業としてＶＲ体験サービスを企業と連携して実施）
賞品：トラベルタンブラー
賞品提供企業：異能工房(コワーキングスペース)

**●青少年と科学の会賞**（ものづくりにおいて新しい発想があったチーム）
**凪（共愛学園前橋国際大学)**
（髪がみだれない前髪クリップ「凪っぷ」の試作品を、地元企業と開発し提案）
賞品：スポーツワイヤレスイヤホン
賞品提供企業：青少年と科学の会

**●スチューデント賞**（生徒が選ぶ一番よかったチーム）
**喜笑堂（共愛学園前橋国際大学)**
（貧血対策ができる、鉄分が豊富で栄養価が高いビーツを使用したサラダラップを提案）
賞品：雑貨セット
賞品提供企業：よーじやグループ

**●ベストショップ賞**（一般来場者が選んだ一番よかったチーム）
**堀商キッズ社（堀商キッズチャレンジ)**
（堀川商店街のマスコットキャラクターの商品やクリスマス飾りのワークショップ等）
賞品：おめでとう三笠（100 個詰め合わせ）
賞品提供企業：株式会社井筒八ッ橋本舗

**●特別賞**
**とんちーず（同志社女子大学)**
（とんちをきかせた方法で京田辺市を PR していくプロジェクト、当日はクイズをブースで実施）
賞品：京都シネマ招待券
賞品提供企業：株式会社京都シネマ

**●特別賞**

**だるま観光大使（まなあそび）**

（だるま寺の歴史や文化を学びながら観光出来る「だるま寺案内チケット」等）

賞品：美味しいものセット

賞品提供企業：株式会社ヘルプ

**●特別賞**

**NISSI カンパニー（亀岡市立西別院小学校）**

（無農薬の野菜や玄米に木工のコースター等、豊かな自然環境を生かした商品開発）

賞品：電子体温計　けんおんくん

賞品提供企業：オムロンヘルスケア株式会社

**●キッズベンチャータウンの最優秀賞**

**タノゴミ**

（ゴミを捨てる時に顔認証をして不審者を警察に通報できる、等の多機能ごみ箱を提案）

賞品：電子体温計　けんおんくん

賞品提供企業：オムロンヘルスケア株式会社

**●キッズベンチャータウンのベストショップ賞**

**ぬいぐるみん社**

（大切なものをいつでも気軽に映像で映し出せるペンダントを提案）

賞品：電子体温計　けんおんくん

賞品提供企業：オムロンヘルスケア株式会社

**■審査員■**

- 有馬　透　（公益社団法人京都工業会　専務理事）
- 市原　達朗（トレードフェア実行委員会　委員長）
- 鵜飼　宏成（名古屋市立大学　経済学研究科経営学専攻　教授）
- 鈴木　一弥（京都府商工労働観光部　部長）
- 竹口　尚樹（京都信用金庫　理事・企業成長推進部部長）
- 田島　慎也（京都中小企業家同友会　事務局長）
- 土井　善子（合同会社空思都　就労継続支援A型　管理者）
- 廣野　貴夫（一般社団法人京都経済同友会　理事・事務局長）
- 藤岡　麻予（有限会社Ek(エク）　取締役）
- 松田　直子（株式会社Hibana 代表取締役）

**■協賛■**

□寄付協賛：株式会社エスユーエス、株式会社エフタイム、京都信用金庫、株式会社島津製作所、株式会社SCREENホールディングス、株式会社山田製油
□広告協賛：株式会社井筒八ッ橋本舗、株式会社土井志ば漬本舗、よーじやグループ
□商品協賛：株式会社井筒八ッ橋本舗、異能工房(コワーキングスペース)、オムロンヘルスケア株式会社、株式会社京都シネマ、株式会社ヘルプ、よーじやグループ

**■後援■**

経済産業省、厚生労働省、文部科学省、京都府、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会、一般社団法人京都経済同友会、公益社団法人京都工業会、公益財団法人京都産業21、京都中小企業家同友会、一般社団法人京都発明協会、青少年と科学の会、京都府立高等学校PTA連合会、京都市PTA連絡協議会、京都府私立中学高等学校保護者会連合会、京都府私立中学高等学校連合会、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会、公益財団法人日本進路指導協会、公益財団法人全国商業高等学校協会、日本キャリア教育学会、一般社団法人日本教育情報化振興会、日本社会科教育学会、特定非営利活動法人日本シミュレーション&ゲーミング学会

## 3. 事業理解を進めるための調査・研究・情報発信

### ➢ HP、ブログ、Facebookやメールマガジンでの情報発信

随時HPやSNS等で活動情報や実践報告を紹介。毎月25日には約6,000人にメールマガジンを配信。
HP：http://www.entreplanet.org/
Facebook：https://www.facebook.com/entreplanet

### ➢ 8th UNESCO-APEID Meeting on Entrepreneurship Educationに出席　2019.10.10

中国の杭州で開催された第八回UNESCO-APEID（Asia Pacific Program of Educational Innovation for Development ）の Entrepreneurship Education の会議に招待され、Social Entrepreneurship and Youth Engagementのセッションで当センターの活動を紹介し、その内容が、中国のJournal of World Educationの2020年の4月号に掲載されました。

## 4. その他 (賞の受賞等)

➢ **令和元年度「京都市 輝く地域企業表彰」を頂きました**

地域に根差し，地域と共に継承・発展する企業に表彰される「京都市 輝く地域企業表彰」を頂戴しました。

表彰式：令和元年 12 月 16 日（月曜日）午後 3 時～5 時
場　所：京都経済センター2 階 京都産業会館ホール

➢ **第 19 回亀岡市「生涯学習奨励賞」を授与頂きました**

生涯学習の推進に寄与し、地域に根ざしたまちづくりの事業を長期にわたり実践し、地域の活性化・イメージアップにつながる先進的でユニークな事業を展開している個人あるいは団体・グループに授与される「生涯学習奨励賞」を頂戴しました。

表彰式：令和 2 年 3 月 6 日（金）午後 1 時 30 分
場　所：亀岡市役

## 5. メディア掲載等

- 2019 年 4 月 17 日　中國新聞　「藻類で魚を養殖事業提案で優勝」
- 2020 年 2 月 24 日　KBS ラジオ　「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」にて堀商キッズ社の「昔なつかし春まつり」のお話をしました。
- 2020 年 2 月 24 日　ラジオカフェ　「環境市民のエコまちライフ」に堀商キッズ社登壇
- 2020 年 3 月 9 日　京都新聞　「生涯学習奨励賞　受賞」
- 2020 年 3 月 15 日　京都新聞　「28 日「春祭り」へ　子らが企画会議　堀川商店街」
- 2020 年 3 月 28 日　KBS 京都　17:45 news フェイス「堀商キッズチャレンジ春祭り」
- 2020 年 3 月 29 日　京都新聞　「子どもら企画　昔遊び体験　堀川商店街「春祭り」」

# 活動を支えてくださった方々 Supporter

＜協賛・助成団体＞

| | |
|---|---|
| Connect Dot | KPMG |
| SUS | エフタイム Ftime |
| 京都外国語大学 Kyoto University of Foreign Studies | 地域とともに コミュニティ・バンク 京都信用金庫 |
| SHIMADZU Excellence in Science | SCREEN |
| nichicon | 日東薬品工業株式会社 NITTO PHAMACEUTICAL INDUSTRIES, LTD |
| HORIBA Explore the future | 山田製油 |
| ROHM SEMICONDUCTOR | 日新電機グループ 社会貢献基金 |
| National Institution For Youth Education 独立行政法人国立青少年教育振興機構 「子どもゆめ基金助成活動」 体験の風をおこそう | ひとのときを、想う。 JT |

＜その他の協賛団体＞

株式会社井筒八ツ橋本舗、異能工房（コワーキングスペース）、オムロンヘルスケア株式会社、株式会社京都シネマ、株式会社土井志ば漬本舗、株式会社ヘルプ、よーじやグループ

＜会員・賛助会員＞

青山和典、石塚実、伊藤剛和、岩田晋一、大口達夫、岡村充泰、黒澤敏朗、酒井朋久、阪内悠一、澤田有紀、首藤晴美、白石秀知、鈴木三朗、鈴木滋朗、高岡美穂、谷孝大、角田隆太郎、中澤弘、中山亮、長屋博久、西岡正子、西川昭寛、濱野康子、原田勲、真庭功、光田信吾、森木隆浩、山本桂子、黄錦豪、太田孝志、小倉光明、木村哲也、下村委津子、田井あゆみ、田中絵里加、津崎桂子、中塚祐起、中西礼皇、中根敏雄、西田喜久夫、文能照之、堀田芳子、松田稔樹、森義晴、山崎真嗣、横井 和彦

＜ボランティアスタッフの皆様＞

井坂　健太郎、太田 孝志、北東　秀基、黒澤 敏郎、小谷　菜々、小林 章一、三反　柊哉、下村 委津子、田中 絵里加、田中 寿樹、田辺 直子、津崎 郁哉、濱野　康子、百武 千賀子、藤原　望紗、藤原 未来、宮脇 裕、星野 寛、山口 裕子、山口　和佳、山本 桂子、吉田 惇貴、脇田　康平

# 2019 年度 決算報告 Financial Report

## 2019 年度「特定非営利活動に係る事業」活動計算書

自　平成 31 年 4 月 1 日　　至 令和 2 年 3 月 31 日

（単位：円）

| 科目 | 金額 | | |
|---|---|---|---|
| I　経常収益 | | | |
| 1.　受取会費 | | | |
| 正会員受取会費 | 280,000 | | |
| 賛助会員受取会費 | 57,000 | 337,000 | |
| 2.　受取寄附金 | | | |
| 受取寄付金 | 1,410,000 | 1,410,000 | |
| 3.　受取助成金等 | | | |
| 受取助成金 | 3,337,199 | 3,337,199 | |
| 4.　事業収益 | | | |
| 教育教材開発･導入支援事業収益 | 942,940 | | |
| 普及促進事業収益 | 1,332,700 | | |
| 研修･講座事業収益 | 1,012,320 | | |
| その他 | 101,600 | 3,389,560 | |
| 5.　その他収益 | | | |
| 賞の副賞金 | 300,000 | | |
| 受取利息 | 190 | 300,190 | |
| 経常収益計 | | | 8,773,949 |
| II　経常費用 | | | |
| 1.　事業費 | | | |
| (1)　人件費 | 6,430,840 | | |
| (2)　その他経費 | 2,942,770 | | |
| 事業費計 | | 9,373,610 | |
| 2.　管理費 | | | |
| 人件費 | 534,290 | | |
| (1)　その他経費 | 846,835 | | |
| 管理費計 | | 1,381,125 | |
| 経常費用計 | | | 10,754,735 |
| 当期経常増減額 | | | -1,980,786 |
| III　経常外収益 | | | |
| | | 0 | |
| IV　経常外費用 | | | |
| | | 0 | |
| 経常外費用計 | | | |
| 税引前当期正味財産増減額 | | | -1,980,786 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | | 70,000 |
| 当期正味財産増減額 | | | -2,050,786 |
| 前期繰越正味財産額 | | | 18,776,559 |
| 次期繰越正味財産額 | | | 16,725,773 |

# 令和元年（2019 年）度「特定非営利活動に係る事業」貸借対照表

令和 2 年 3 月 31 日現在

（単位：円）

| 科目 | 金額 | | |
|---|---|---|---|
| Ⅰ　資産の部 | | | |
| 1　流動資産 | | | |
| 現金 | 54,629 | | |
| 普通預金 | 22,559,698 | | |
| 立替金 | 4,426 | | |
| 未収入金 | 1,249,599 | | |
| 流動資産合計 | | 23,868,352 | |
| 2　固定資産 | | | |
| 保証金（敷金） | 500,000 | | |
| 固定資産合計 | | 500,000 | |
| 資産合計 | | | 24,368,352 |
| Ⅱ　負債の部 | | | |
| 1　流動負債 | | | |
| 未払金 | 1,218,269 | | |
| 前受受益 | 967,500 | | |
| 預り金 | 456,810 | | |
| 流動負債合計 | | 2,642,579 | |
| 2　固定負債 | | | |
| 退職給与引当金 | 5,000,000 | | |
| 固定負債合計 | | 5,000,000 | |
| 負債合計 | | | 7,642,579 |
| Ⅲ正味財産の部 | | | |
| 前期繰越正味財産 | | 18,776,559 | |
| 当期正味財産増加額 | | | |
| 当期収支差額 | (2,050,786) | (2,050,786) | |
| 正味財産合計 | | | 16,725,773 |
| 負債及び正味財産合計 | | | 24,368,352 |

# 2019年度「特定非営利活動に係る事業」財産目録

令和2年3月31日現在

（単位：円）

| 科目・摘要 | 金額 | | |
|---|---|---|---|
| Ⅰ 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 現金 現金手元有高 | 54,629 | | |
| 普通預金 京都銀行西五条企業会館支店 | 1,600,508 | | |
| 京都中央信用金庫西大路五条支店 | 19,724,032 | | |
| ゆうちょ銀行（当座預金） | 1,235,158 | | |
| 立替金 | 4,426 | | |
| 未収入金 | 1,249,599 | | |
| 流動資産合計 | | 23,868,352 | |
| 2 固定資産 | | | |
| 保証金（船越メディカルビル事務所保証金） | 500,000 | | |
| 京都市中京区両替町通丸太町南入西方寺町160－2 | | | |
| 船越メディカルビル 3F | | | |
| 固定資産合計 | | 500,000 | |
| 資産合計 | | | 24,368,352 |
| Ⅱ 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 未払金 | 1,218,269 | | |
| 前受受益 | 967,500 | | |
| 預り金 | 456,810 | | |
| 流動負債合計 | | 2,642,579 | |
| 2 固定負債 | | | |
| 退職給与引当金 | 5,000,000 | | |
| 固定負債合計 | | 5,000,000 | |
| 負債合計 | | | 7,642,579 |
| 正味財産合計 | | | 16,725,773 |